

令和元年（平成31年）中の人口の動き

～ 目次 ～

I	人口動態	1
1	概況	1
2	区別の状況	2
3	日本人・外国人別の状況	2
II	自然動態	3
1	概況	3
2	区別の状況	3
3	出生・死亡	4
III	社会動態	5
1	概況	5
2	区別の状況	5
3	転入・転出・転入超過の状況	8
	（1）相手地域別の状況	8
	（2）年齢別の状況	11
	（3）年齢別・相手地域別の状況	12
IV	参考表	14
	表1 人口の動きの推移	14
	表2 令和元年月別人口の動き	15
	表3 日本人・外国人別人口の動きの推移	16
	表4 自然動態の推移	17
	後掲表	別表

利用上の注意

ここで述べる人口の動きは、住民基本台帳法の規定に基づく出生・死亡・転入・転出の届出を集計したものである。（平成24年7月8日までは外国人登録法の規定に基づく届出を含む。）

「自然動態」とは、一定期間における出生・死亡に伴う人口の動きであり、「社会動態」とは、転入・転出に伴う人口の動きである。これらの自然動態と社会動態を合わせた人口の動きを「人口動態」という。

また、グラフ上、死亡数・転出数を負の値として表示しているものがある。

用語の解説

人口増減数＝自然増減数＋社会増減数

自然増減数＝出生数－死亡数

社会増減数＝社会増（転入，その他の増）－社会減（転出，その他の減）

I 人口動態

1 概況

- 人口増減数は4,366人の減少で8年連続の人口減少。
- 自然増減数は5,645人の減少。
- 社会増減数は1,279人の増加。

図1 人口増減数の推移

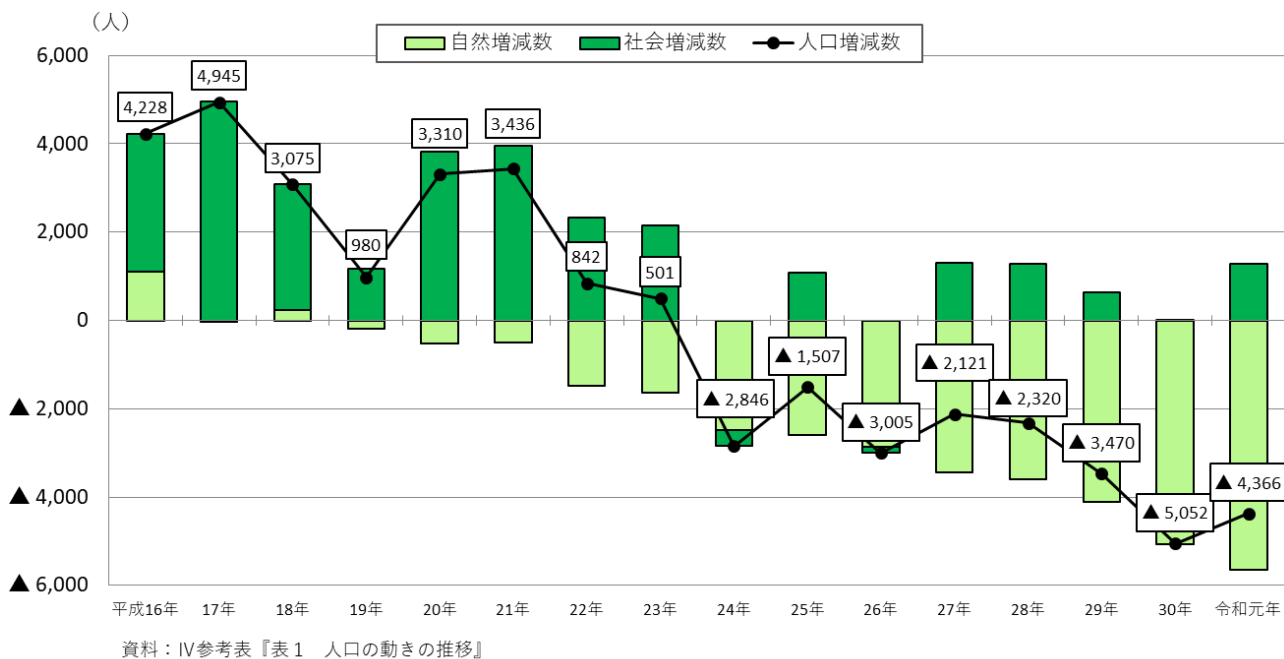
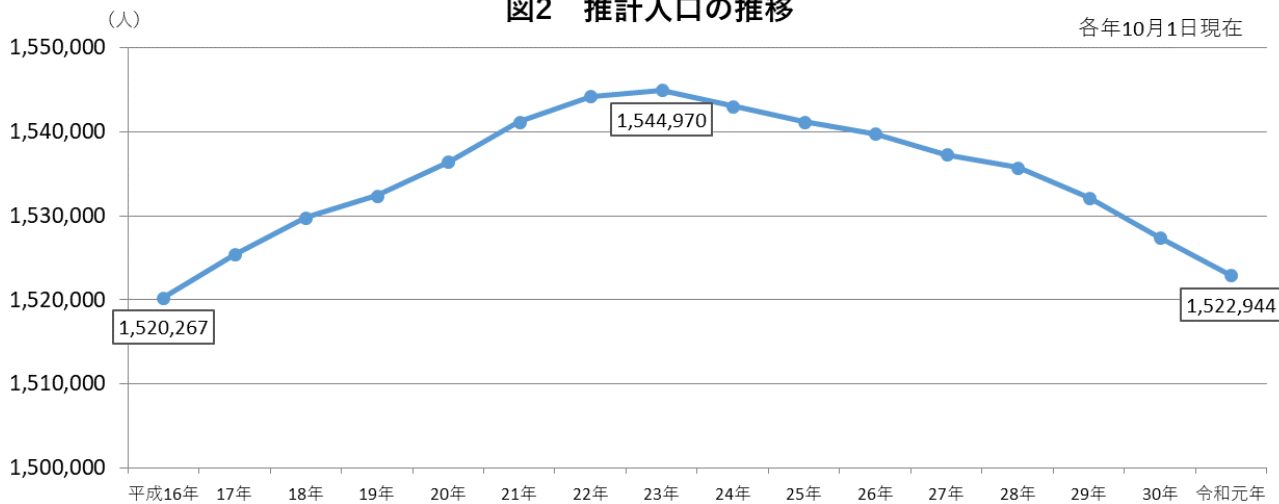


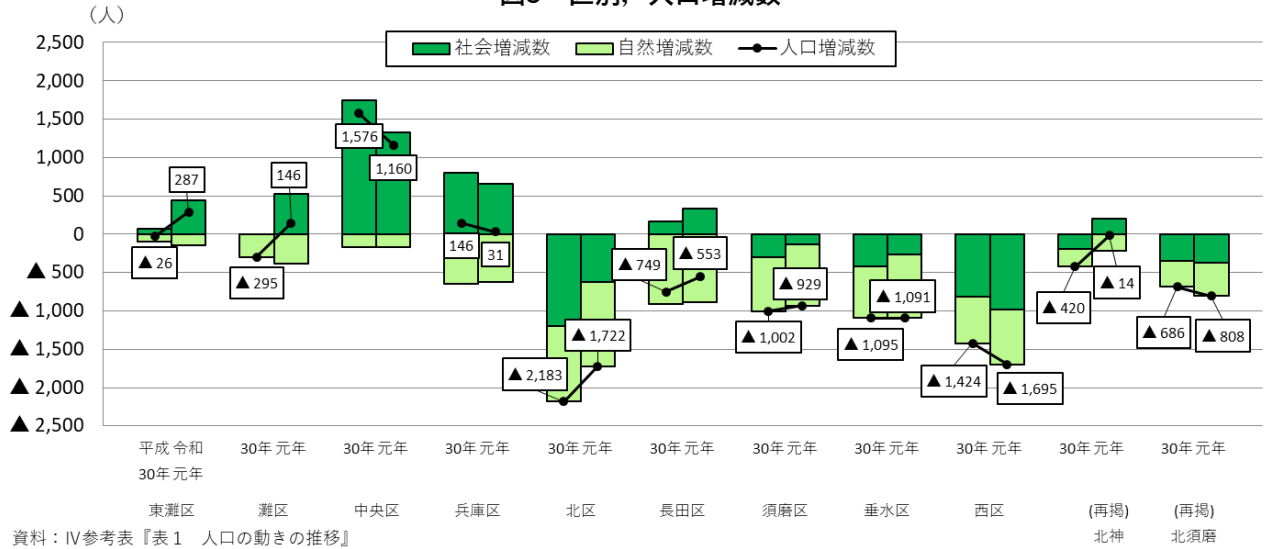
図2 推計人口の推移



2 区別の状況

- 人口増加となった区は東灘区、灘区、中央区、兵庫区。
- 東灘区と灘区は前年の人口減少から人口増加に転じた。
- 人口減少幅が縮小した区は北区、長田区、須磨区、垂水区。対して西区は減少幅が拡大。

図3 区別、人口増減数



3 日本人・外国人別の状況

- 人口増減数は日本人が5,645人の減少、外国人が1,279人の増加。
- 自然増減数は日本人が5,597人の減少、外国人が48人の減少。
- 社会増減数は日本人が48人の減少、外国人は1,327人の増加。

図4-1 日本人、人口増減数の推移

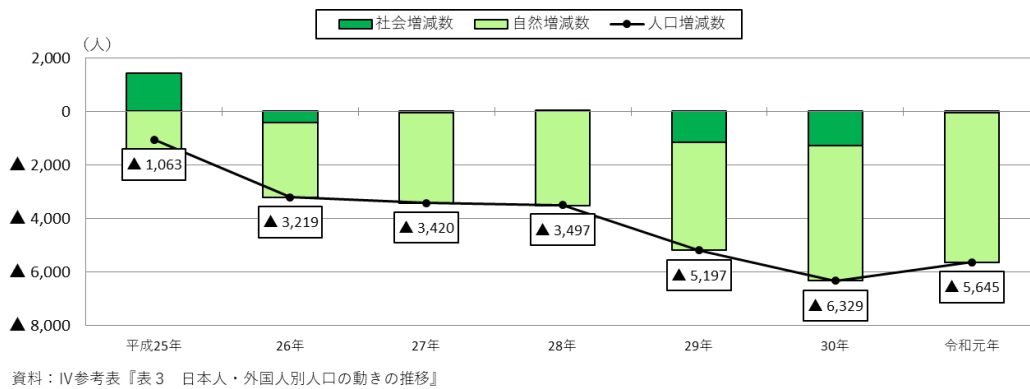
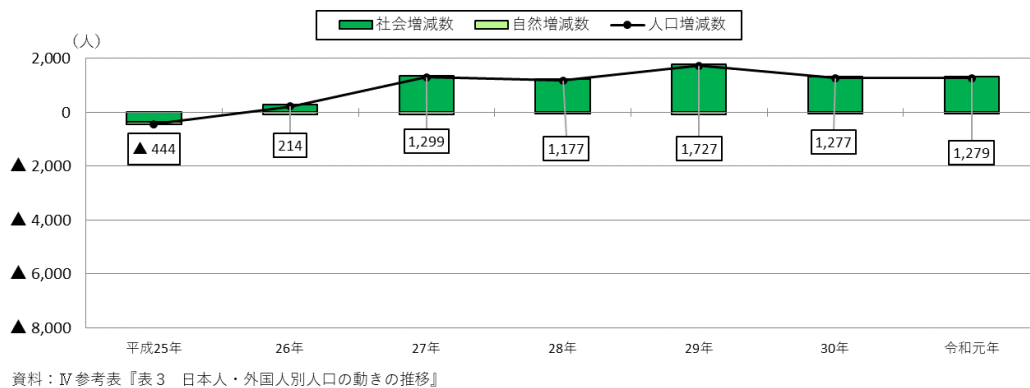


図4-2 外国人、人口増減数の推移

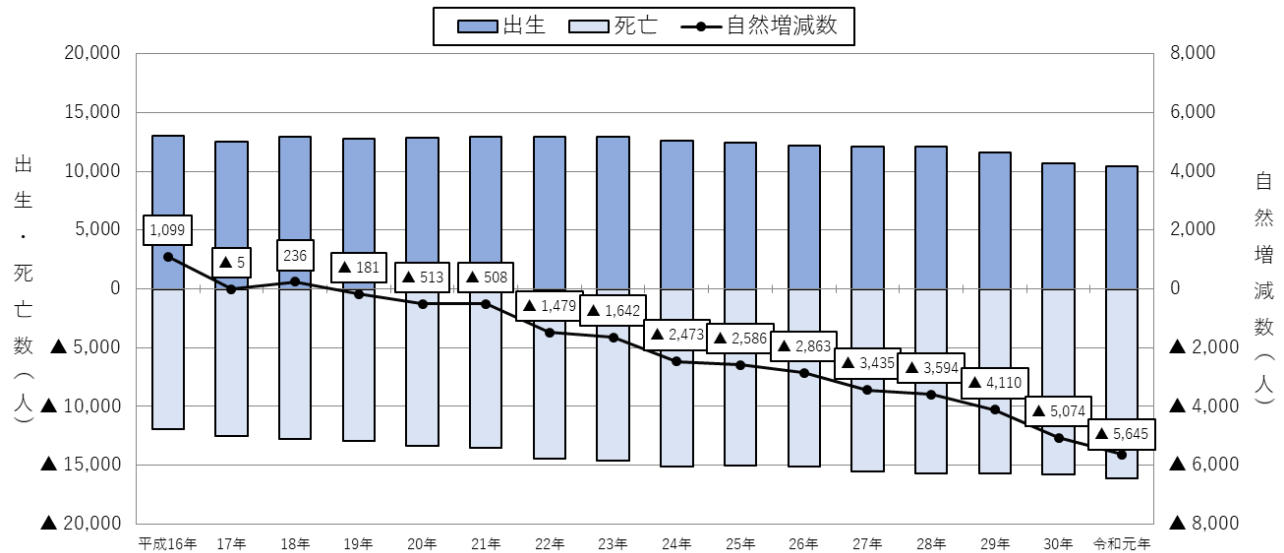


II 自然動態

1 概況

- 自然増減数は 5,645 人の減少で、13 年連続の減少。
- 出生数は 10,468 人、前年より 243 人減少。
- 死亡数は 16,113 人、前年より 328 人増加。

図5 自然増減数の推移

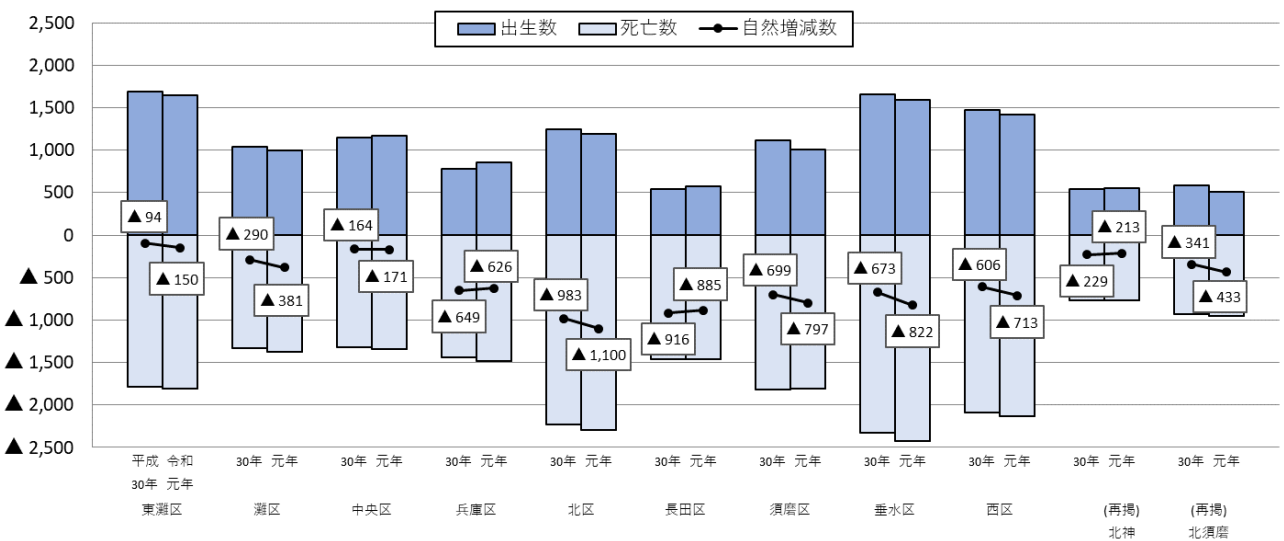


資料：IV参考表『表4 自然動態の推移』

2 区別の状況

- 全ての区で自然減少。
- 自然減少数が最も大きかったのは北区，次いで長田区。
- 自然減少数が前年より縮小した区は兵庫区，長田区。

図6 区別，自然増減数

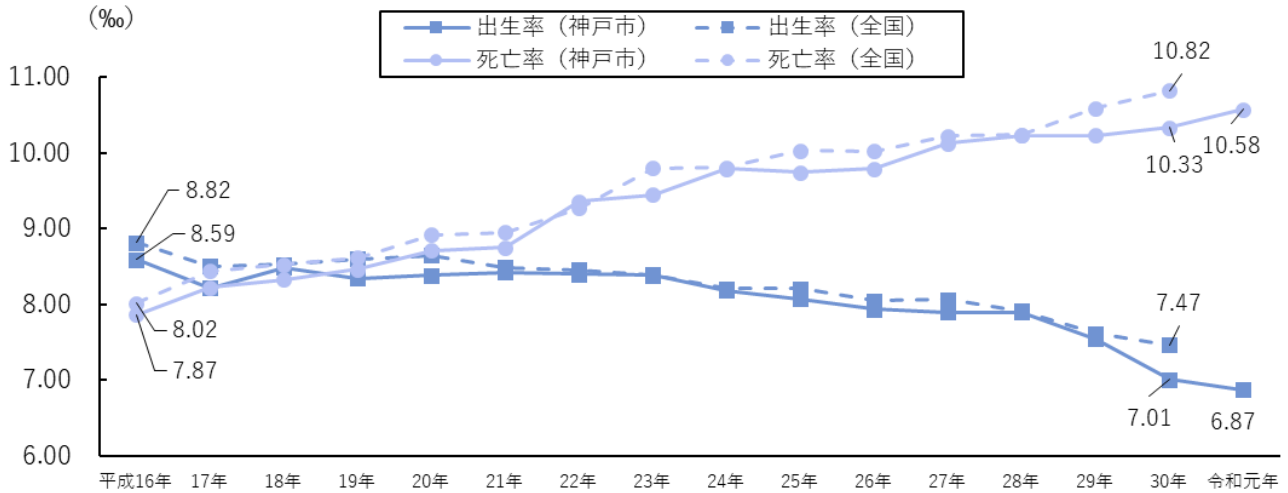


資料：後掲表『第2表 区別人口動態の推移』

3 出生・死亡

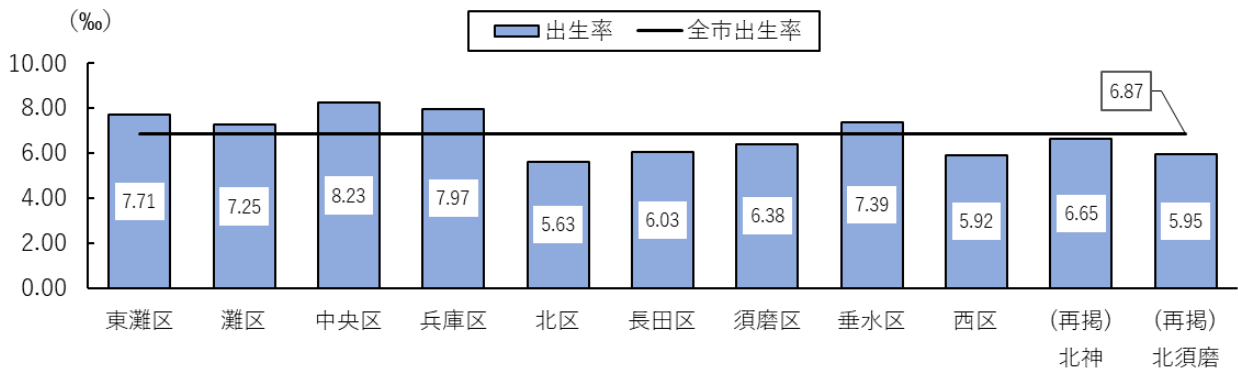
- 出生数は10,468人、前年より243人の減少。死亡数は16,113人で、前年より328人の増加。
- 出生率は6.87%、前年より0.14ポイントの低下。死亡率は10.58%で、前年より0.25ポイントの上昇。
- 出生率が最も高い区は中央区、次いで東灘区。対して最も低い区は北区、次いで西区。
- 死亡率が最も高い区は長田区、次いで兵庫区。対して最も低い区は東灘区、次いで西区。

図7 出生率・死亡率の推移



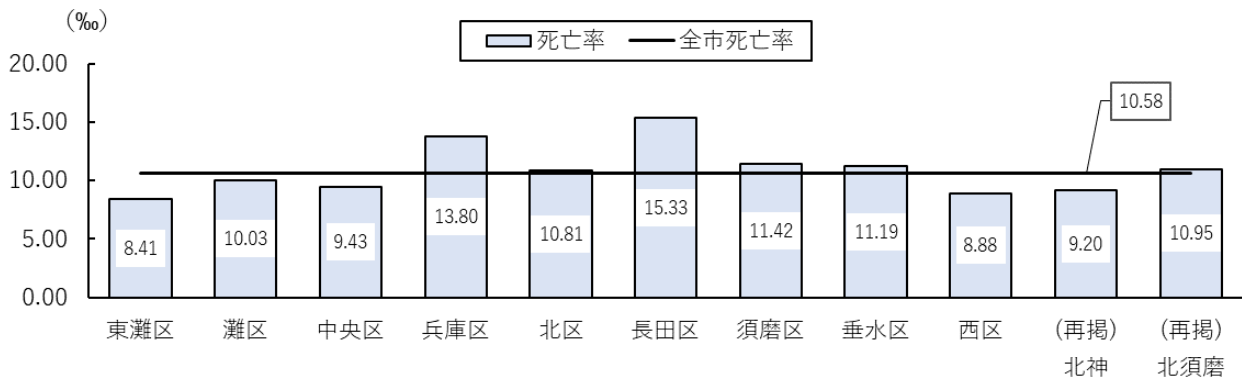
資料：IV参考表『表4 自然動態の推移』，総務省統計局『人口推計月報』（全国）

図8 区別，出生率（令和元年）



資料：IV参考表『表4 自然動態の推移』

図9 区別，死亡率（令和元年）



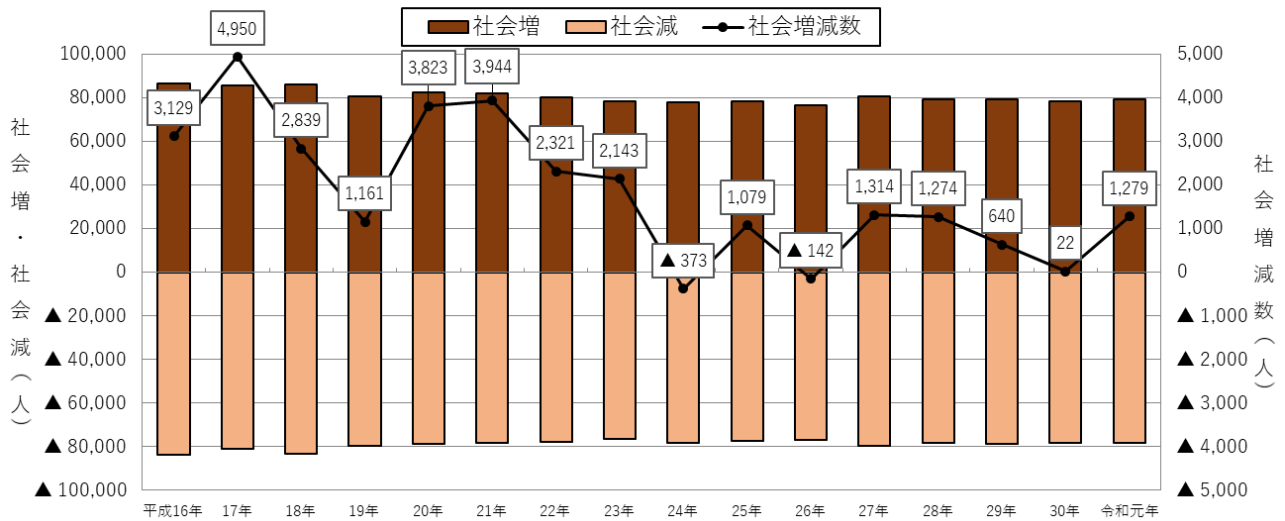
資料：IV参考表『表4 自然動態の推移』

III 社会動態

1 概況

- 社会増減数は 1,279 人の増加で前年より 1,257 人拡大。
- 社会増は 79,483 人で前年より 1,047 人増加。うち、市外からの転入数は 52,512 人で前年より 1,164 人増加
- 社会減は 78,204 人で前年より 210 人減少。うち、市外への転出数は 49,606 人で前年より 307 人減少。

図10 社会増減数の推移



資料：後掲表『第1表 人口の自然動態及び社会動態』

2 区別の状況

- 社会増加となった区は東灘区、灘区、中央区、兵庫区、長田区。
- 灘区は前年の社会減少から社会増加に転じた。
- 社会増加が前年より拡大したのは東灘区、長田区。
- 社会減少が前年より縮小したのは北区、須磨区、垂水区。

図11-1 社会増減数の推移（東灘区）

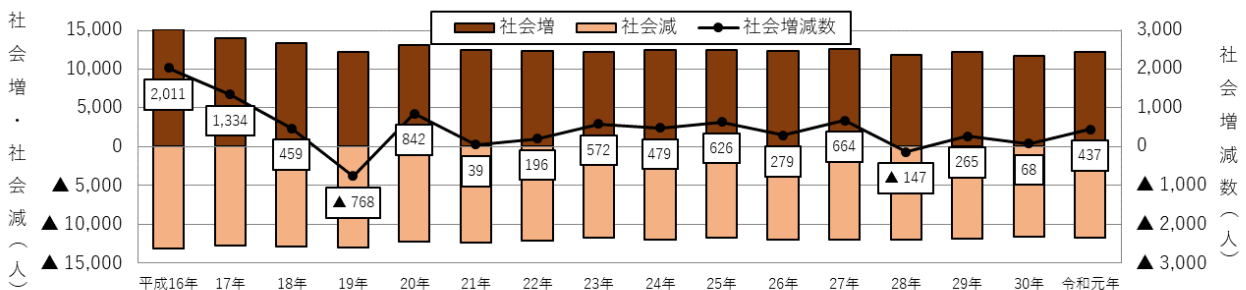


図11-2 社会増減数の推移（灘区）

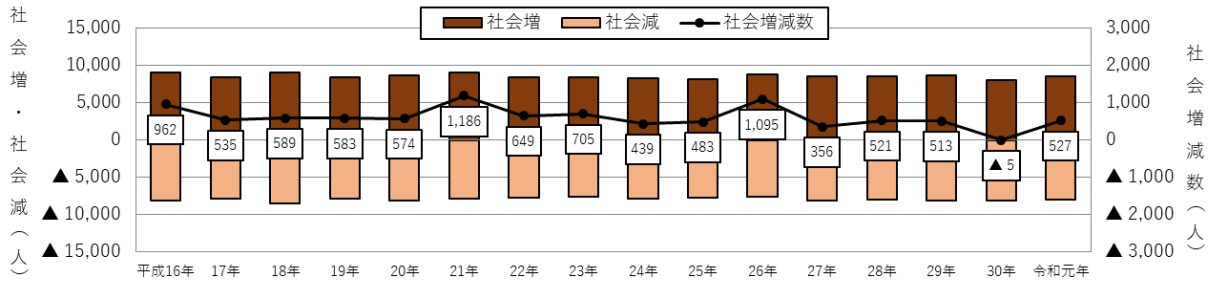


図11-3 社会増減数の推移（中央区）

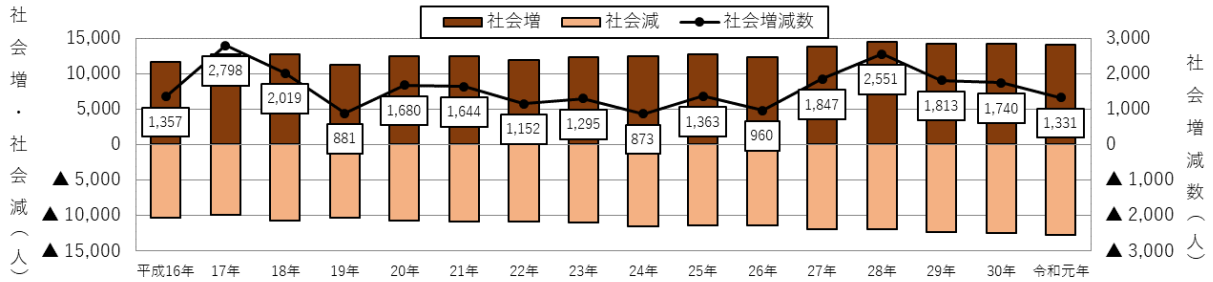


図11-4 社会増減数の推移（兵庫区）

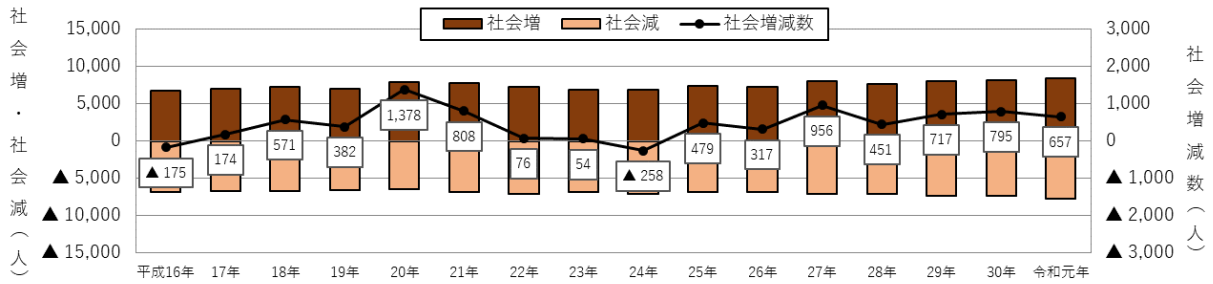


図11-5 社会増減数の推移（北区）

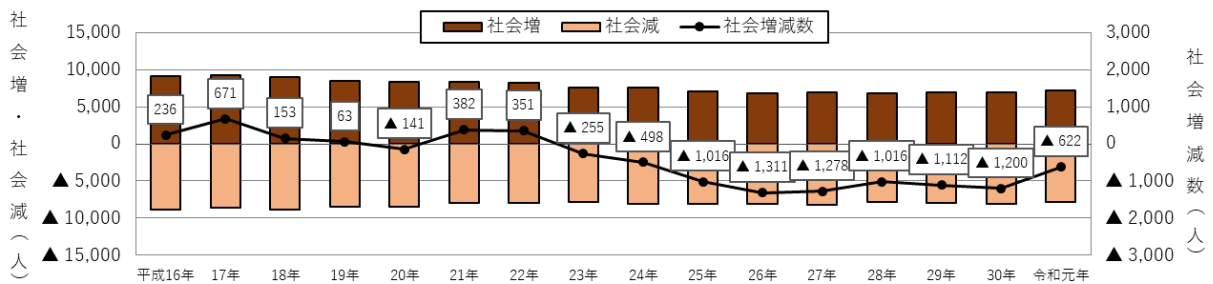


図11-6 社会増減数の推移（北北区）

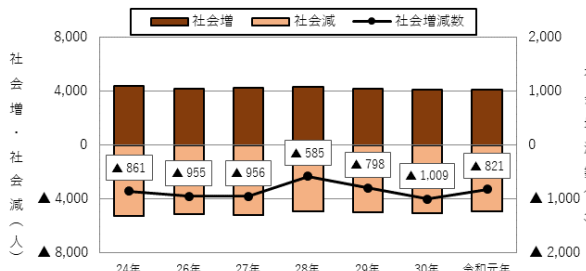


図11-7 社会増減数の推移（北神）

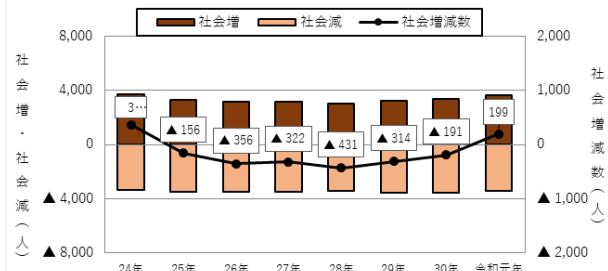


図11-8 社会増減数の推移（長田区）

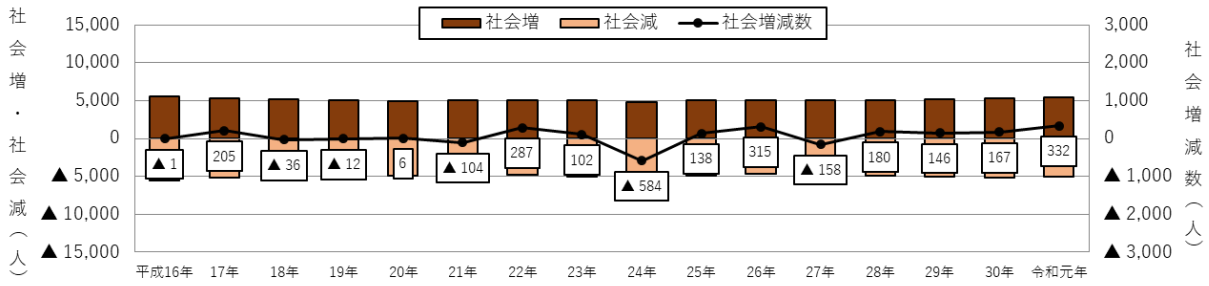


図11-9 社会増減数の推移（須磨区）

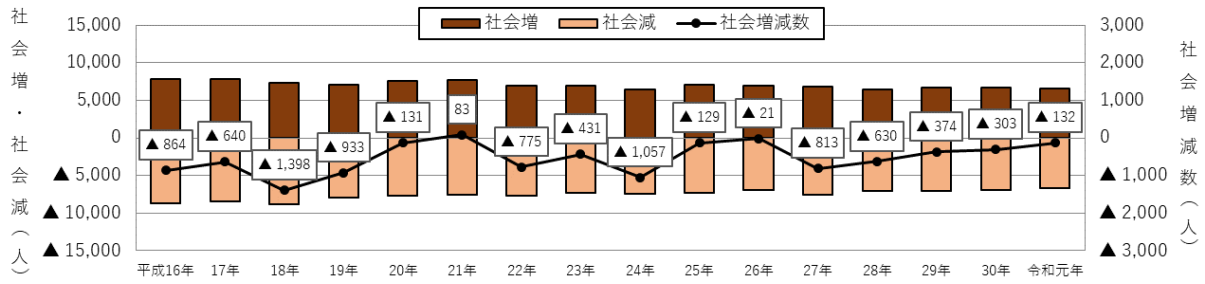


図11-10 社会増減数の推移（須磨本区）

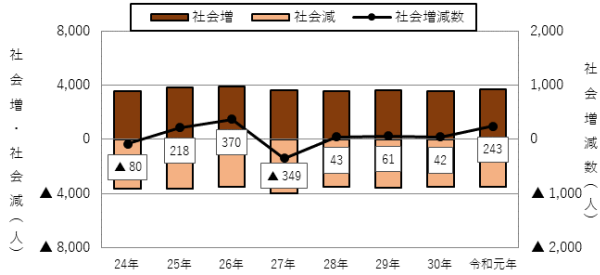


図11-11 社会増減数の推移（北須磨）

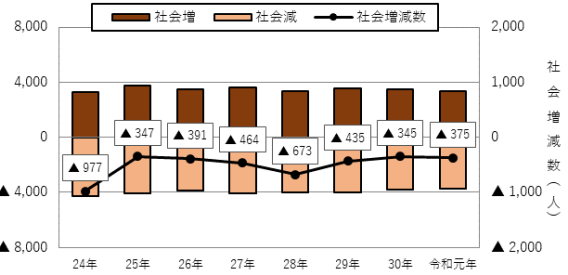


図11-12 社会増減数の推移（垂水区）

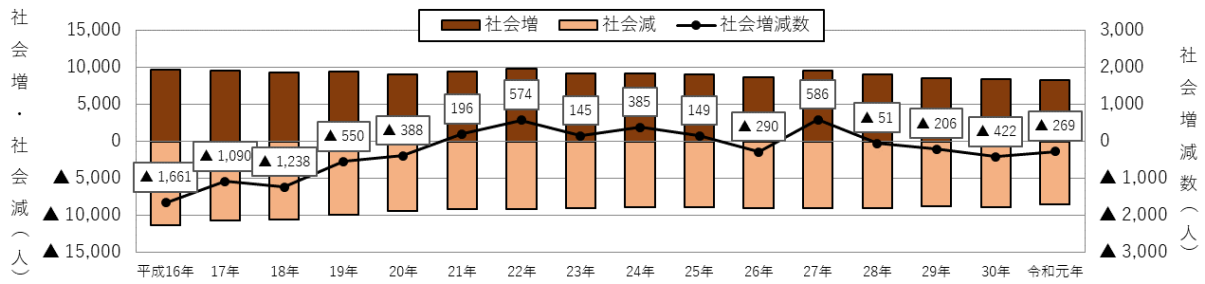
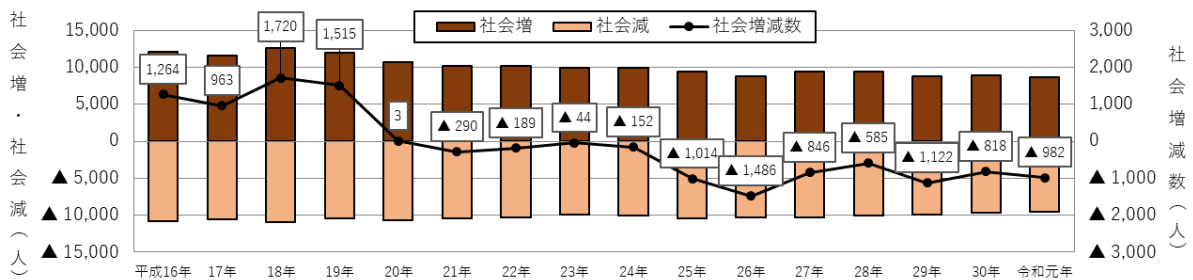


図11-13 社会増減数の推移（西区）



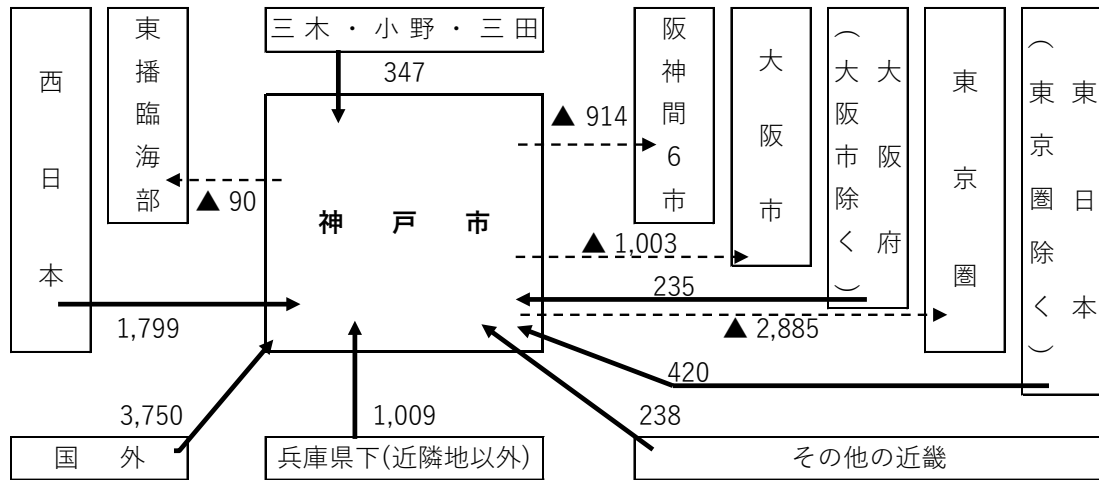
資料：後掲表『第2表 区別人口動態の推移』（図11-1~13）

3 転入・転出・転入超過の状況

(1) 相手地域別の状況

- 転入超過だった地域は三木・小野・三田，兵庫県下（近隣地以外），その他の近畿，西日本，国外。
- 転入超過数が前年より拡大した地域は三木・小野・三田，兵庫県下（近隣地以外）。
- 転出超過だった全ての地域で転出超過数が前年より縮小。阪神間6市は314人，東播臨海部は666人の縮小。

図12 相手地域別転入超過数（令和元年）



※阪神間6市…芦屋市，西宮市，宝塚市，尼崎市，伊丹市，川西市

※東播臨海部…明石市，加古川市，高砂市，加古郡

※東京圏…埼玉県，千葉県，東京都，神奈川県

資料：後掲表『第5表 区，相手地域別転入超過数』

図13-1 転入超過数の推移（阪神間6市）

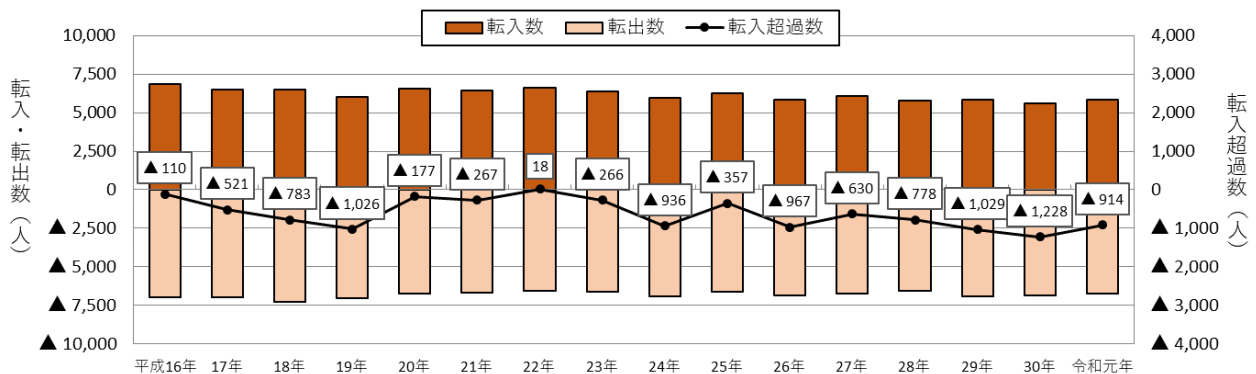


図13-2 転入超過数の推移（東播臨海部）

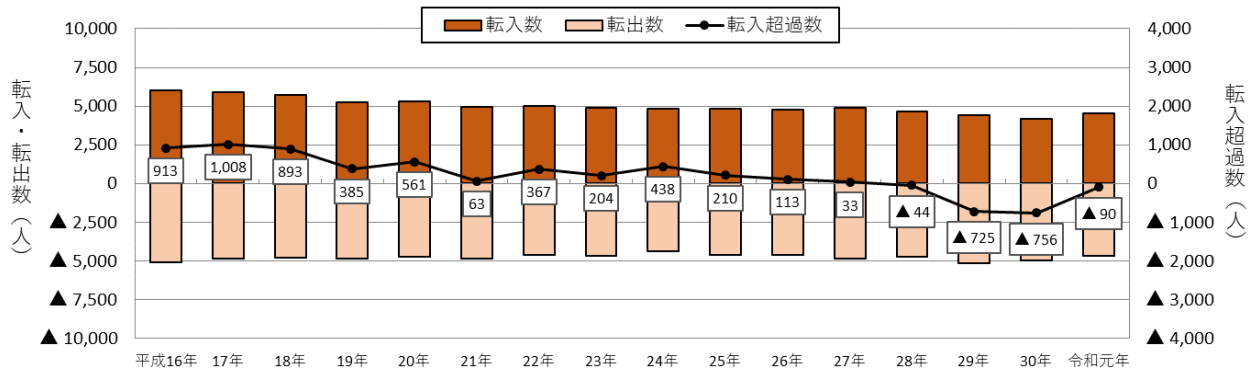


図13-3 転入超過数の推移（三木・小野・三田）

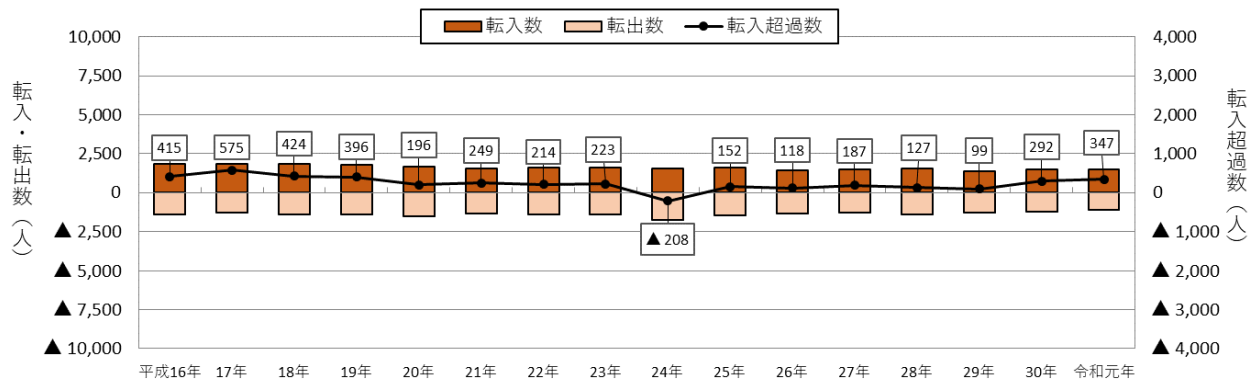


図13-4 転入超過数の推移（兵庫県下（近隣地以外））

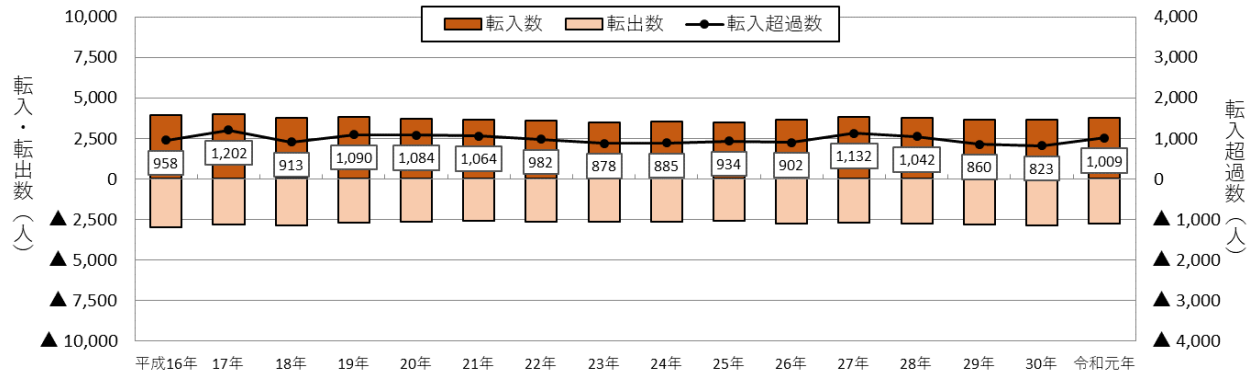


図13-5 転入超過数の推移（大阪市）

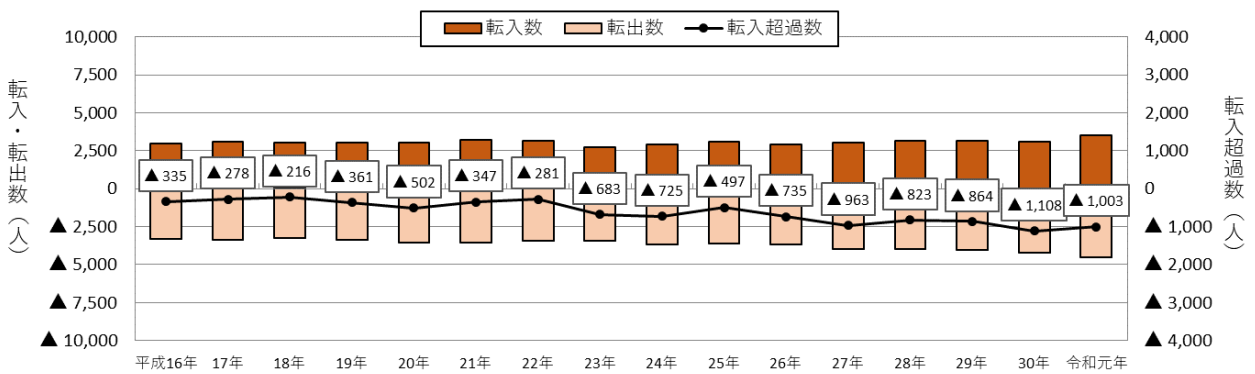


図13-6 転入超過数の推移（大阪府（大阪市除く））

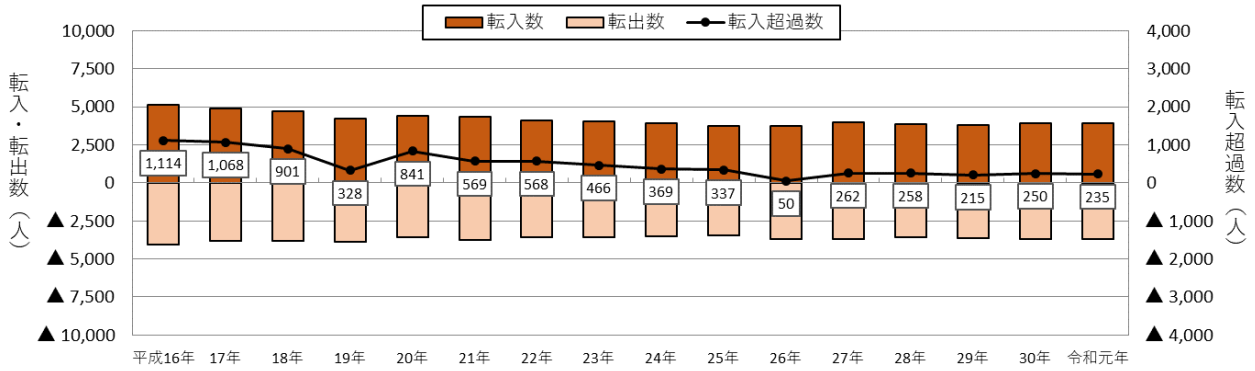


図13-7 転入超過数の推移（その他の近畿）

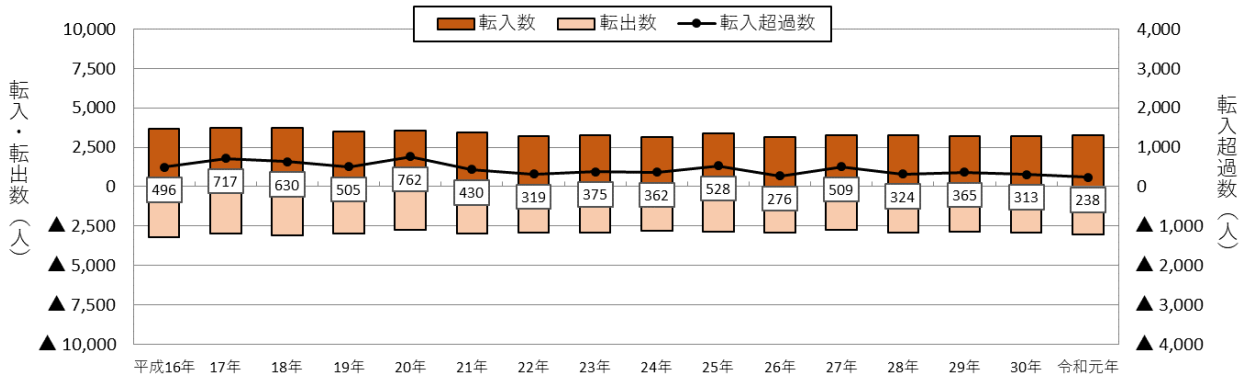


図13-8 転入超過数の推移（東京圏）

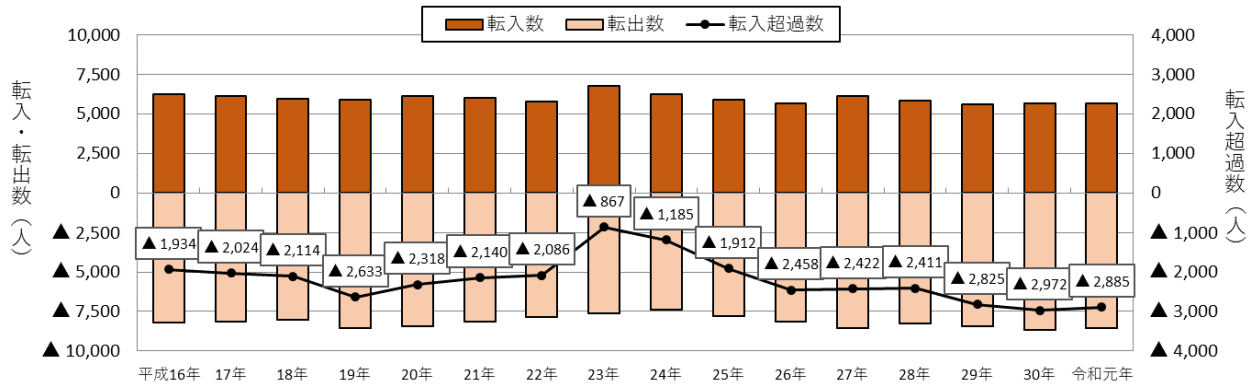


図13-9 転入超過数の推移（東日本（東京圏除く））

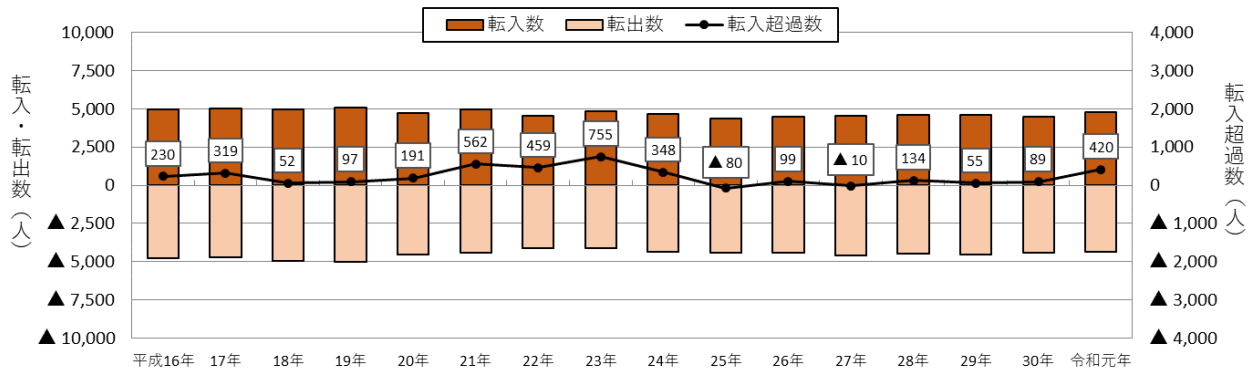


図13-10 転入超過数の推移（西日本）

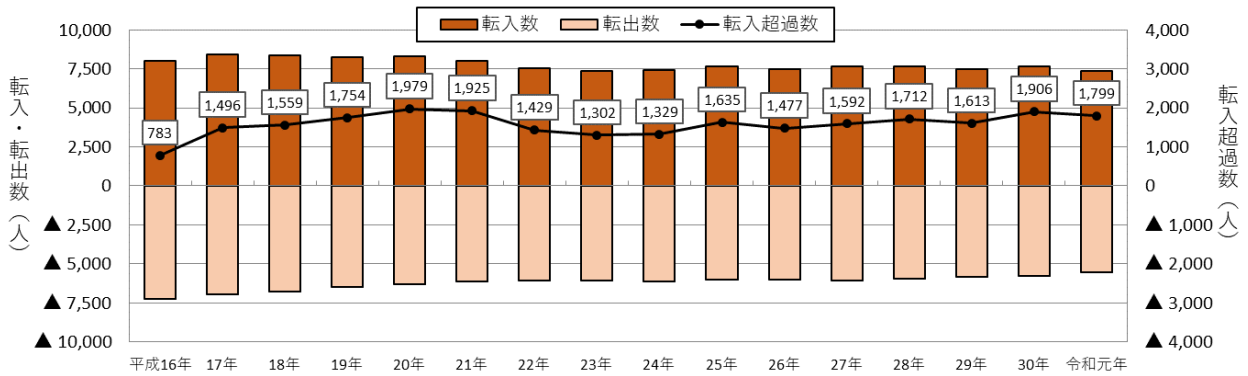
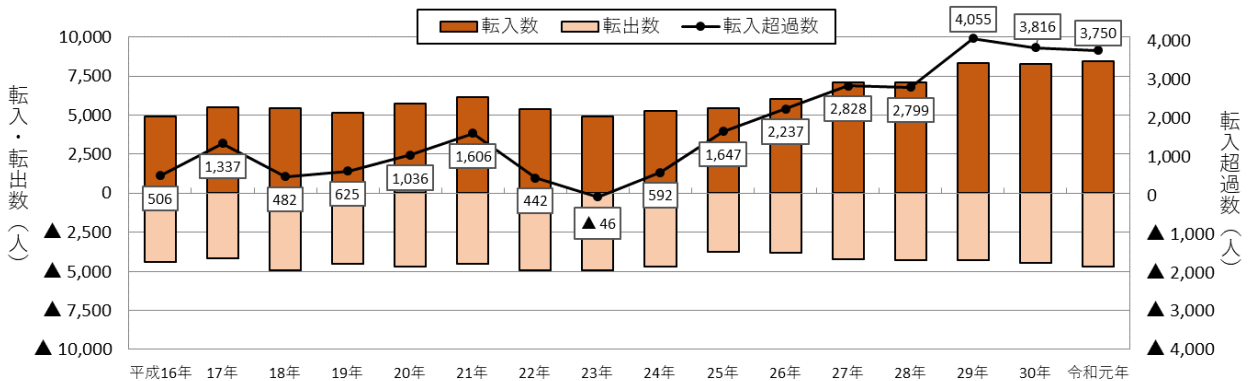


図13-11 転入超過数の推移（国外）

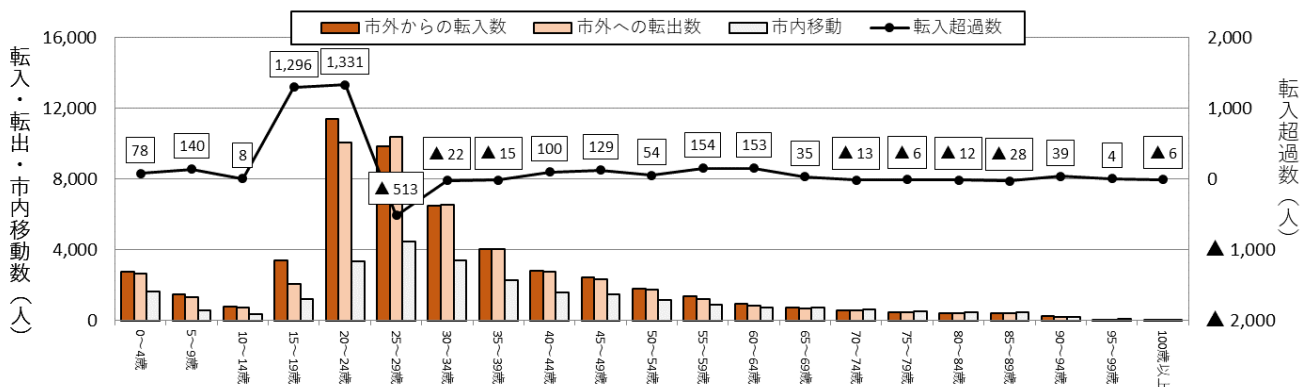


資料：長期時系列人口の動き『第5表 相手地域別転入超過数』（図13-1～11）

（2）年齢別の状況

- 市外からの転入が最も多いのは20～24歳。市外への転出が最も多いのは25～29歳。市内移動が最も多いのは25～29歳。
- 転入超過数が最も大きいのは20～24歳。対して転出超過数が最も大きいのは25～29歳。

図14 年齢別、転入超過数



資料：後掲表『第12表 年齢（5歳階級）別、相手地域別転入超過数』

(3) 年齢別・相手地域別の状況

- 15～19歳で転入超過となった地域は西日本，国外など。対して転出超過となった地域はその他の近畿，東京圏など。
- 20～24歳で転入超過となった地域は兵庫県下（近隣地除く），その他の近畿，西日本，国外など。対して転出超過となった地域は大阪市，東京圏など。
- 25～29歳で転入超過となった地域は三木・小野・三田，西日本，国外など。対して転出超過となった地域は阪神間6市，東播臨海部，大阪市，東京圏など。

図15-1 年齢別，転入超過数（阪神間6市）

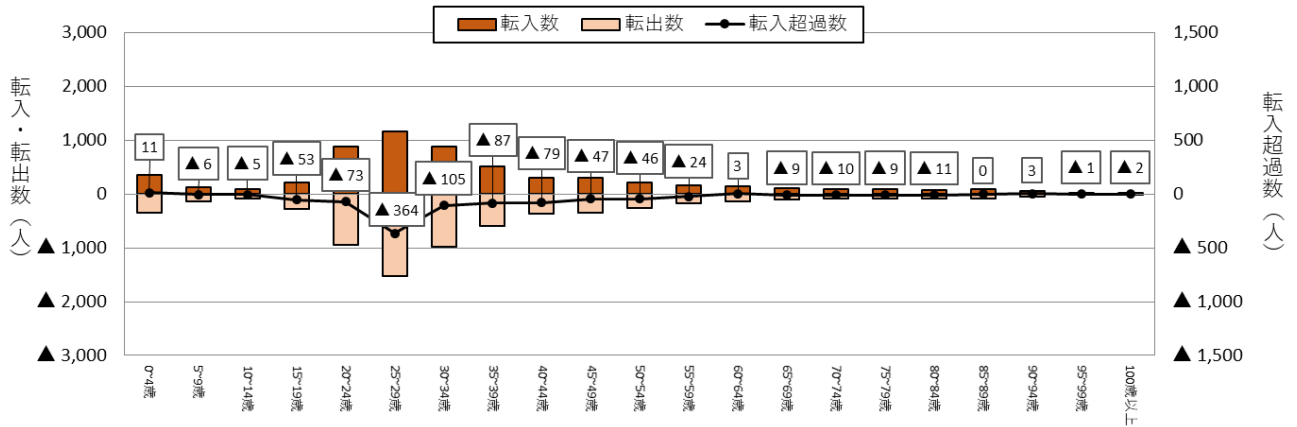


図15-2 年齢別，転入超過数（東播臨海部）

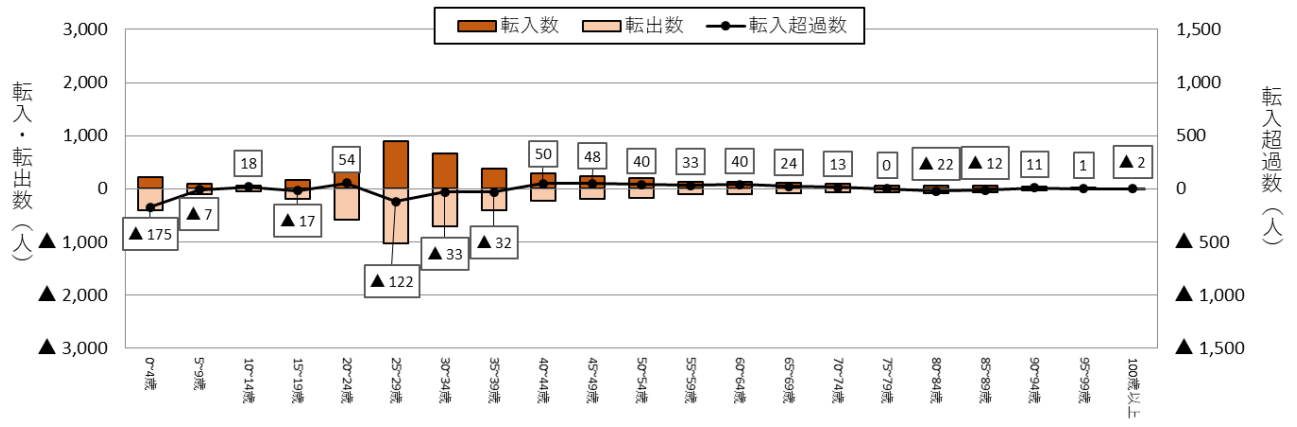


図15-3 年齢別，転入超過数（大阪市）

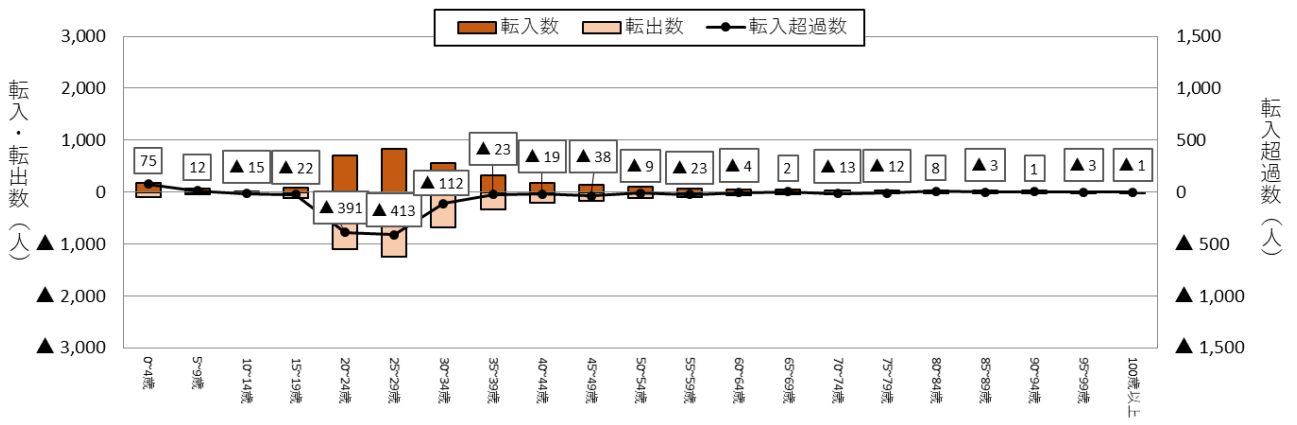


图15-4 年齢別，転入超過数（東京圏）

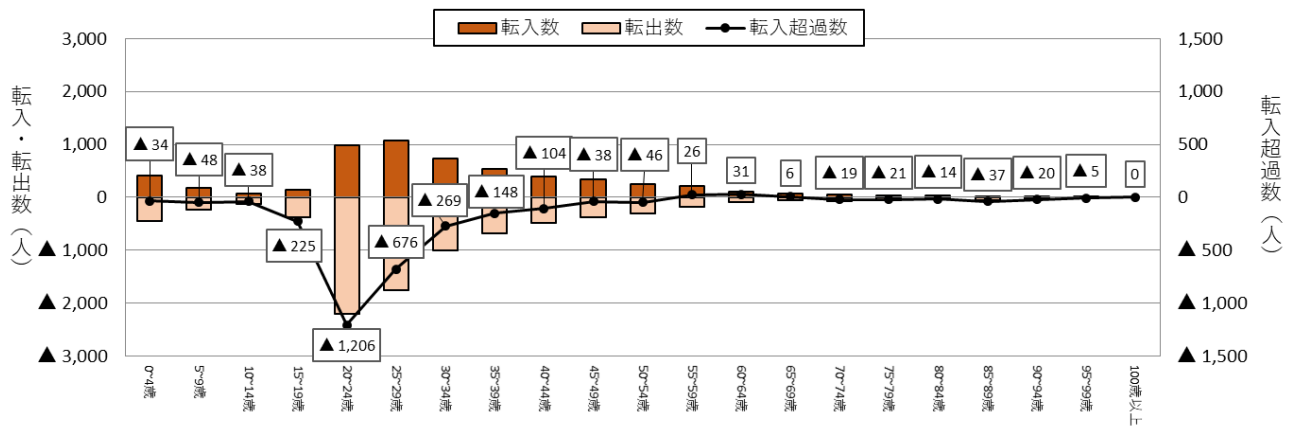


图15-5 年齢別，転入超過数（西日本）

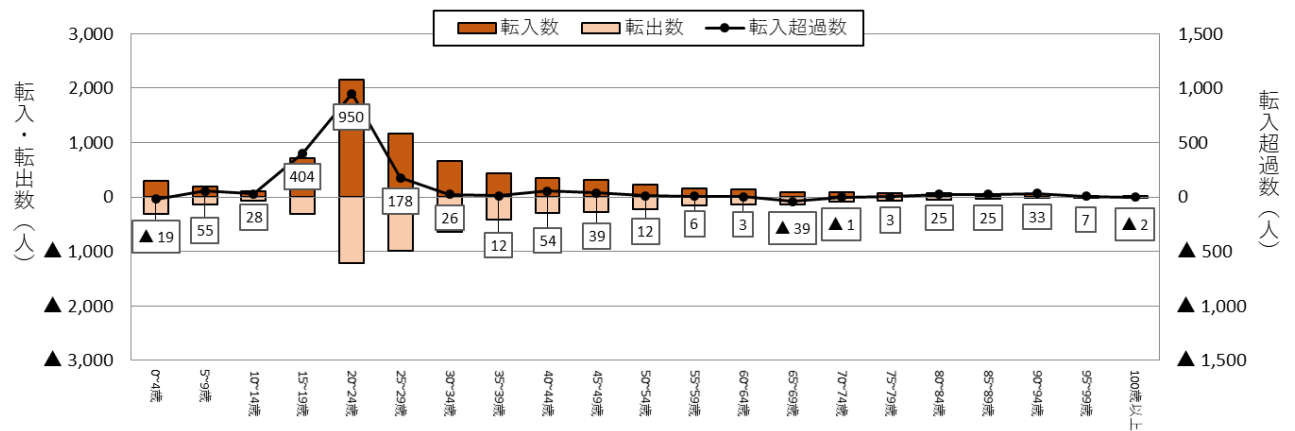
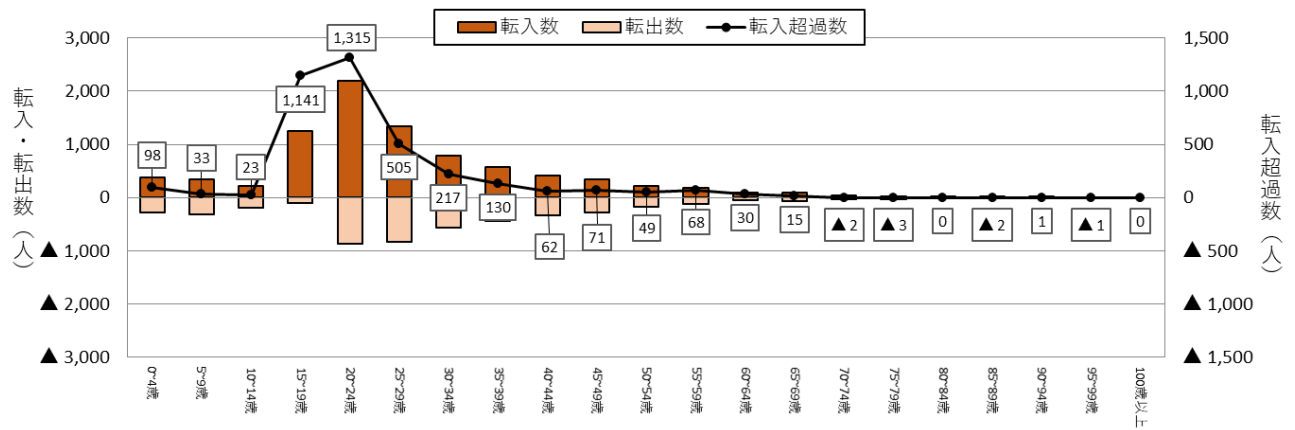


图15-6 年齢別，転入超過数（国外）



資料：後掲表『第12表 年齢（5歳階級）別，相手地域別転入超過数』（图15-1～6）

IV 参考表

表1 人口の動きの推移

年次	全市	東灘区	灘区	中央区	兵庫区	北区		長田区	須磨区	須磨区		垂水区	西区	
						北本区	北神			須磨本区	北須磨			
人口増減数（人口動態）														
平成16年	4,228	2,737	1,125	1,239	▲525	435	▲649	1,084	▲460	▲872	▲88	▲784	▲1,369	1,918
17年	4,945	1,982	575	2,615	▲281	671	80	591	▲280	▲741	▲53	▲688	▲1,142	1,546
18年	3,075	1,114	635	1,840	227	138	▲533	671	▲486	▲1,561	▲530	▲1,031	▲1,142	2,310
19年	980	▲204	555	663	▲44	137	▲626	763	▲558	▲1,037	▲206	▲831	▲638	2,106
20年	3,310	1,279	608	1,519	866	▲170	▲1,012	842	▲594	▲329	707	▲1,036	▲436	567
21年	3,436	532	1,171	1,423	369	380	▲486	866	▲714	▲66	705	▲771	162	179
22年	842	603	687	937	▲515	231	▲695	926	▲317	▲1,124	40	▲1,164	263	77
23年	501	839	704	1,167	▲491	▲452	▲1,131	679	▲595	▲743	236	▲979	▲114	186
24年	▲2,846	760	325	672	▲873	▲882	▲1,331	449	▲1,423	▲1,532	▲305	▲1,227	40	67
25年	▲1,507	986	451	1,204	▲216	▲1,478	▲1,392	▲86	▲633	▲545	81	▲626	▲323	▲953
26年	▲3,005	392	931	811	▲242	▲1,832	▲1,505	▲327	▲506	▲412	261	▲673	▲642	▲1,505
27年	▲2,121	820	258	1,704	334	▲1,992	▲1,608	▲384	▲941	▲1,314	▲529	▲785	13	▲1,003
28年	▲2,320	▲73	433	2,449	▲117	▲1,781	▲1,262	▲519	▲654	▲1,178	▲188	▲990	▲531	▲868
29年	▲3,470	286	363	1,736	86	▲1,921	▲1,438	▲483	▲703	▲1,012	▲210	▲802	▲751	▲1,554
30年	▲5,052	▲26	▲295	1,576	146	▲2,183	▲1,763	▲420	▲749	▲1,002	▲316	▲686	▲1,095	▲1,424
令和元年	▲4,366	287	146	1,160	31	▲1,722	▲1,708	▲14	▲553	▲929	▲121	▲808	▲1,091	▲1,695
自然増減数（自然動態）														
平成16年	1,099	726	163	▲118	▲350	199	▲47	246	▲459	▲8	▲77	69	292	654
17年	▲5	648	40	▲183	▲455	0	▲142	142	▲485	▲101	▲55	▲46	▲52	583
18年	236	655	46	▲179	▲344	▲15	▲176	161	▲450	▲163	▲143	▲20	96	590
19年	▲181	564	▲28	▲218	▲426	74	▲143	217	▲546	▲104	▲86	▲18	▲88	591
20年	▲513	437	34	▲161	▲512	▲29	▲246	217	▲600	▲198	▲144	▲54	▲48	564
21年	▲508	493	▲15	▲221	▲439	▲2	▲219	217	▲610	▲149	▲93	▲56	▲34	469
22年	▲1,479	407	38	▲215	▲591	▲120	▲244	124	▲604	▲349	▲137	▲212	▲311	266
23年	▲1,642	267	▲1	▲128	▲545	▲197	▲335	138	▲697	▲312	▲128	▲184	▲259	230
24年	▲2,473	281	▲114	▲201	▲615	▲384	▲470	86	▲839	▲475	▲225	▲250	▲345	219
25年	▲2,586	360	▲32	▲159	▲695	▲462	▲532	70	▲771	▲416	▲137	▲279	▲472	61
26年	▲2,863	113	▲164	▲149	▲559	▲521	▲550	29	▲821	▲391	▲109	▲282	▲352	▲19
27年	▲3,435	156	▲98	▲143	▲622	▲714	▲652	▲62	▲783	▲501	▲180	▲321	▲573	▲157
28年	▲3,594	74	▲88	▲102	▲568	▲765	▲677	▲88	▲834	▲548	▲231	▲317	▲480	▲283
29年	▲4,110	21	▲150	▲77	▲631	▲809	▲640	▲169	▲849	▲638	▲271	▲367	▲545	▲432
30年	▲5,074	▲94	▲290	▲164	▲649	▲983	▲754	▲229	▲916	▲699	▲358	▲341	▲673	▲606
令和元年	▲5,645	▲150	▲381	▲171	▲626	▲1,100	▲887	▲213	▲885	▲797	▲364	▲433	▲822	▲713
社会増減数（社会動態）														
平成16年	3,129	2,011	962	1,357	▲175	236	▲602	838	▲1	▲864	▲11	▲853	▲1,661	1,264
17年	4,950	1,334	535	2,798	174	671	222	449	205	▲640	2	▲642	▲1,090	963
18年	2,839	459	589	2,019	571	153	▲357	510	▲36	▲1,398	▲387	▲1,011	▲1,238	1,720
19年	1,161	▲768	583	881	382	63	▲483	546	▲12	▲933	▲120	▲813	▲550	1,515
20年	3,823	842	574	1,680	1,378	▲141	▲766	625	6	▲131	851	▲982	▲388	3
21年	3,944	39	1,186	1,644	808	382	▲267	649	▲104	83	798	▲715	196	▲290
22年	2,321	196	649	1,152	76	351	▲451	802	287	▲775	177	▲952	574	▲189
23年	2,143	572	705	1,295	54	▲255	▲796	541	102	▲431	364	▲795	145	▲44
24年	▲373	479	439	873	▲258	▲498	▲861	363	▲584	▲1,057	▲80	▲977	385	▲152
25年	1,079	626	483	1,363	479	▲1,016	▲860	▲156	138	▲129	218	▲347	149	▲1,014
26年	▲142	279	1,095	960	317	▲1,311	▲955	▲356	315	▲21	370	▲391	▲290	▲1,486
27年	1,314	664	356	1,847	956	▲1,278	▲956	▲322	▲158	▲813	▲349	▲464	586	▲846
28年	1,274	▲147	521	2,551	451	▲1,016	▲585	▲431	180	▲630	43	▲673	▲51	▲585
29年	640	265	513	1,813	717	▲1,112	▲798	▲314	146	▲374	61	▲435	▲206	▲1,122
30年	22	68	▲5	1,740	795	▲1,200	▲1,009	▲191	167	▲303	42	▲345	▲422	▲818
令和元年	1,279	437	527	1,331	657	▲622	▲821	199	332	▲132	243	▲375	▲269	▲982

注) 社会増減数については、北区の北本区と北神、須磨区の須磨本区と北須磨との間の移動数を含む数値により算出している。

表2 令和元年月別人口の動き

年次	全市	東灘区	灘区	中央区	兵庫区	北区	北区		長田区	須磨区	須磨区		垂水区	西区
							北本区	北神			須磨本区	北須磨		
人口増減数														
平成31年1月中	▲1,024	▲12	▲47	▲55	▲86	▲194	▲185	▲9	▲153	▲136	▲38	▲98	▲108	▲233
2月中	▲1,193	▲29	▲200	▲101	▲48	▲278	▲238	▲40	▲7	▲222	▲108	▲114	▲129	▲179
3月中	▲1,787	▲280	▲154	124	▲67	▲488	▲402	▲86	9	▲142	▲6	▲136	▲328	▲461
4月中	2,114	534	276	705	302	▲13	▲115	102	34	162	173	▲11	152	▲38
令和元年5月中	▲148	90	▲117	147	148	▲116	▲123	7	▲1	▲75	25	▲100	▲95	▲129
6月中	▲350	▲12	▲13	42	56	▲102	▲79	▲23	▲83	▲107	▲58	▲49	▲43	▲88
7月中	▲733	▲150	▲97	▲72	▲9	▲56	▲88	32	▲89	▲62	▲44	▲18	▲120	▲78
8月中	▲494	72	114	▲68	▲117	▲48	▲59	11	▲25	▲133	5	▲138	▲84	▲205
9月中	▲80	▲33	261	216	▲100	▲118	▲107	▲11	▲114	▲61	▲14	▲47	▲115	▲16
10月中	575	287	171	262	52	▲95	▲132	37	65	▲8	27	▲35	▲51	▲108
11月中	▲555	▲34	▲38	19	▲29	▲133	▲135	2	▲92	▲47	13	▲60	▲105	▲96
12月中	▲691	▲146	▲10	▲59	▲71	▲81	▲45	▲36	▲97	▲98	▲96	▲2	▲65	▲64
年合計	▲4,366	287	146	1,160	31	▲1,722	▲1,708	▲14	▲553	▲929	▲121	▲808	▲1,091	▲1,695
自然増減数														
平成31年1月中	▲856	▲37	▲83	▲46	▲91	▲123	▲89	▲34	▲124	▲93	▲43	▲50	▲125	▲134
2月中	▲608	▲19	▲49	▲32	▲63	▲139	▲97	▲42	▲72	▲87	▲42	▲45	▲98	▲49
3月中	▲452	▲19	▲26	▲1	▲49	▲59	▲45	▲14	▲69	▲69	▲23	▲46	▲89	▲71
4月中	▲383	0	▲24	▲5	▲36	▲99	▲75	▲24	▲70	▲65	▲34	▲31	▲45	▲39
令和元年5月中	▲505	8	▲19	▲13	▲86	▲110	▲96	▲14	▲74	▲50	▲14	▲36	▲92	▲69
6月中	▲333	▲15	▲6	▲5	▲39	▲62	▲51	▲11	▲76	▲75	▲34	▲41	▲35	▲20
7月中	▲349	14	▲46	0	▲27	▲63	▲51	▲12	▲70	▲70	▲42	▲28	▲50	▲37
8月中	▲328	3	▲24	▲14	▲40	▲62	▲53	▲9	▲48	▲46	▲13	▲33	▲39	▲58
9月中	▲305	▲19	▲23	▲13	▲34	▲56	▲67	11	▲31	▲76	▲37	▲39	▲59	6
10月中	▲460	▲7	▲27	▲28	▲69	▲79	▲70	▲9	▲74	▲39	▲36	▲3	▲49	▲88
11月中	▲548	▲29	▲65	▲1	▲39	▲132	▲104	▲28	▲72	▲57	▲20	▲37	▲72	▲81
12月中	▲518	▲30	11	▲13	▲53	▲116	▲89	▲27	▲105	▲70	▲26	▲44	▲69	▲73
年合計	▲5,645	▲150	▲381	▲171	▲626	▲1,100	▲887	▲213	▲885	▲797	▲364	▲433	▲822	▲713
社会増減数														
平成31年1月中	▲168	25	36	▲9	5	▲71	▲96	25	▲29	▲43	5	▲48	17	▲99
2月中	▲585	▲10	▲151	▲69	15	▲139	▲141	2	65	▲135	▲66	▲69	▲31	▲130
3月中	▲1,335	▲261	▲128	125	▲18	▲429	▲357	▲72	78	▲73	17	▲90	▲239	▲390
4月中	2,497	534	300	710	338	86	▲40	126	104	227	207	20	197	1
令和元年5月中	357	82	▲98	160	234	▲6	▲27	21	73	▲25	39	▲64	▲3	▲60
6月中	▲17	3	▲7	47	95	▲40	▲28	▲12	▲7	▲32	▲24	▲8	▲8	▲68
7月中	▲384	▲164	▲51	▲72	18	7	▲37	44	▲19	8	▲2	10	▲70	▲41
8月中	▲166	69	138	▲54	▲77	14	▲6	20	23	▲87	18	▲105	▲45	▲147
9月中	225	▲14	284	229	▲66	▲62	▲40	▲22	▲83	15	23	▲8	▲56	▲22
10月中	1,035	294	198	290	121	▲16	▲62	46	139	31	63	▲32	▲2	▲20
11月中	▲7	▲5	27	20	10	▲1	▲31	30	▲20	10	33	▲23	▲33	▲15
12月中	▲173	▲116	▲21	▲46	▲18	35	44	▲9	8	▲28	▲70	42	4	9
年合計	1,279	437	527	1,331	657	▲622	▲821	199	332	▲132	243	▲375	▲269	▲982

注) 社会増減数については、北区の北本区と北神、須磨区の須磨本区と北須磨との間の移動数を含む数値により算出している。

表3 日本人・外国人別人口の動きの推移

(単位：人)

年次	日本人			外国人		
	人口増減数	自然増減数	社会増減数	人口増減数	自然増減数	社会増減数
平成25年	▲ 1,063	▲ 2,495	1,432	▲ 444	▲ 91	▲ 353
26年	▲ 3,219	▲ 2,792	▲ 427	214	▲ 71	285
27年	▲ 3,420	▲ 3,364	▲ 56	1,299	▲ 71	1,370
28年	▲ 3,497	▲ 3,541	44	1,177	▲ 53	1,230
29年	▲ 5,197	▲ 4,038	▲ 1,159	1,727	▲ 72	1,799
30年	▲ 6,329	▲ 5,037	▲ 1,292	1,277	▲ 37	1,314
令和元年	▲ 5,645	▲ 5,597	▲ 48	1,279	▲ 48	1,327
東灘区	▲ 159	▲ 171	12	446	21	425
灘区	156	▲ 383	539	▲ 10	2	▲ 12
中央区	855	▲ 193	1,048	305	22	283
兵庫区	▲ 6	▲ 650	644	37	24	13
北区	▲ 1,934	▲ 1,097	▲ 837	212	▲ 3	215
長田区	▲ 533	▲ 836	303	▲ 20	▲ 49	29
須磨区	▲ 907	▲ 767	▲ 140	▲ 22	▲ 30	8
垂水区	▲ 1,154	▲ 801	▲ 353	63	▲ 21	84
西区	▲ 1,963	▲ 699	▲ 1,264	268	▲ 14	282

表4 自然動態の推移

(単位：人，‰)

年次・区	自然増減数	出生数	死亡数	自然増減率	出生率	死亡率	a)
							人口 (10月1日現在)
平成16年	1,099	13,062	11,963	0.72	8.59	7.87	1,520,267
17年	▲ 5	12,540	12,545	▲ 0.00	8.22	8.22	1,525,393
18年	236	12,984	12,748	0.15	8.49	8.33	1,529,817
19年	▲ 181	12,792	12,973	▲ 0.12	8.35	8.47	1,532,428
20年	▲ 513	12,878	13,391	▲ 0.33	8.38	8.72	1,536,433
21年	▲ 508	12,981	13,489	▲ 0.33	8.42	8.75	1,541,214
22年	▲ 1,479	12,979	14,458	▲ 0.96	8.40	9.36	1,544,200
23年	▲ 1,642	12,954	14,596	▲ 1.06	8.38	9.45	1,544,970
24年	▲ 2,473	12,636	15,109	▲ 1.60	8.19	9.79	1,543,075
25年	▲ 2,586	12,437	15,023	▲ 1.68	8.07	9.75	1,541,169
26年	▲ 2,863	12,218	15,081	▲ 1.86	7.94	9.79	1,539,755
27年	▲ 3,435	12,140	15,575	▲ 2.23	7.90	10.13	1,537,272
28年	▲ 3,594	12,124	15,718	▲ 2.34	7.89	10.23	1,535,765
29年	▲ 4,110	11,565	15,675	▲ 2.68	7.55	10.23	1,532,153
30年	▲ 5,074	10,711	15,785	▲ 3.32	7.01	10.33	1,527,407
令和元年	▲ 5,645	10,468	16,113	▲ 3.71	6.87	10.58	1,522,944
東灘区	▲ 150	1,652	1,802	▲ 0.70	7.71	8.41	214,255
灘区	▲ 381	992	1,373	▲ 2.78	7.25	10.03	136,865
中央区	▲ 171	1,170	1,341	▲ 1.20	8.23	9.43	142,232
兵庫区	▲ 626	855	1,481	▲ 5.83	7.97	13.80	107,307
北区	▲ 1,100	1,195	2,295	▲ 5.18	5.63	10.81	212,211
本区	▲ 887	638	1,525	▲ 6.90	4.97	11.87	128,477
北神	▲ 213	557	770	▲ 2.54	6.65	9.20	83,734
長田区	▲ 885	574	1,459	▲ 9.30	6.03	15.33	95,155
須磨区	▲ 797	1,010	1,807	▲ 5.04	6.38	11.42	158,196
本区	▲ 364	495	859	▲ 5.08	6.91	12.00	71,595
北須磨	▲ 433	515	948	▲ 5.00	5.95	10.95	86,601
垂水区	▲ 822	1,598	2,420	▲ 3.80	7.39	11.19	216,337
西区	▲ 713	1,422	2,135	▲ 2.97	5.92	8.88	240,386

注) 自然増減率，出生率，死亡率は，各年10月1日現在の人口1,000人当たりの率である。

平成16年，平成18年～21年，平成23年～26年は，それぞれ平成17年，22年，27年の国勢調査結果（確定数）に基づき補間補正した人口により算出している

a) 平成17年，22年，27年は国勢調査結果，それ以外は推計人口である。